

## 1.1 退院患者年齢構成の変化

退院延患者数の年齢構成を2005年と2019年で比較しました。平均年齢は、2005年 58.1歳、2019年 78.3歳です。在院日数による補正後は82.8歳です。14年間で、最頻値および中央値とも70代から80代へ移行しています。在院日数は約9,000日短くなっています。対象患者の年齢の変化とともに、当院の病院機能も変化し対応していく必要があります。

